

# データベースの超初級

Hukanzen

平成30年11月8日



## 第1章 はじめに

本書は若造も良いところの、未熟ボンコツ学生が教科書の内容を削りつつ、自分なりにわかりやすく記述する。そのため、当然間違いや、歯抜けもあるだろうが、その時は、指摘してくれると有難い。本書の用途としては、自分の振り返りや後輩等への教育、データベースに対するイメージ付け程度である。そのため、本書を理解したからと言って、データベースが完璧なわけではないし、本書がさっぱりわからないからと言って、データベースから遠ざかったりしないで欲しい。特に、リレーショナルデータベースなどは、数学の集合論に基づいて作成されている。そのため、当たり前のことだが、集合論に対する理解や知識が、最低限必要となってくる。しかし、高専3年や大学1年生といった、若造は、集合論の概念はなかなかハードルが高く、存在自体知らない場合もある。そこで、本書では極力数学的な知識を必要とせず、表や図を用いて説明を行い、補助的に数学を用いる程度に留める。もし、数学などを通じた理論を必要として、本書を見つけたのなら、即刻引き返して欲しい。おそらく、数学とデータベースの関連に気付いている人にとっては、まったくの無価値であろう。

繰り返すが、本書は、あくまで、データベースに対する印象づけや、感覚を養う程度であり、理論に関しては、全く役に立たないことを御理解頂きたい。